# LEICA Q2 / LEICA Q2 MONOCHROM

ファームウェアのアップデート

## ファームウェア

| カメラ名 | ファームウェアバージョン |
|---|---|
| ライカ Q2 | 3.1 |
| ライカ Q2 モノクローム | 1.1 |

**_NEW：**ピクセルマッピング

**_拡張機能：**EVF使用時にタッチAFを使用する際の新設定項目

## ファームウェアアップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。

### 現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューでカメラ情報を選択する。
  - 現在のファームウェアバージョンが表示されます。

ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、ライカ カスタマーサイト（club.leica-camera.com）からご覧いただけます。

## カメラのファームウェアをアップデートする

- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。
- メインメニューでカメラ情報を選択する。
- ファームウェアを選択する。
- アップデートを開始を選択する。
  - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- はいを選択する。
  - プロファイル情報を SDカードに記録しますか?というメッセージが表示されます。
- はいまたはいいえを選択する。
  - アップデートが自動的に開始します。
  - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

**メモ**

- アップデート中にカメラの電源を切らないでください。
- バッテリー残量が十分でない場合は、「バッテリー残量が足りないためアップデートできません」という警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- カメラ情報のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

## ピクセルマッピング

時間の経過とともにデジタルカメラのイメージセンサーに欠陥画素が発生します。カメラは周辺画素から情報を読み取り、この欠陥画素を自動的に補正します。その為には欠陥画素をイメージセンサーの最適化機能「ピクセルマッピング」により検出する必要があります。この作業は通常二週間ごとに自動で行われていますが、必要に応じて手動で実行することもできます。

- メインメニューでピクセルマッピングを選択する。
- はいを選択する。
  - マッピングが実行されます。処理には数秒程度かかることがあります。
  - 「カメラを再起動してください」というメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

## EVF使用時にタッチAFを使用する際の新設定項目

EVF使用時にタッチAFの設定に関係なく、「AFクイック設定」を呼び出すことができます。

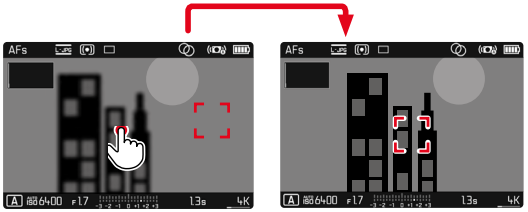
### タッチAF

モニターをタッチして測距点／AFフレームの位置を移動させることができます。

- メインメニューでフォーカスを選択する。
- タッチAFを選択する。
- タッチAFを選択する。

#### AFフレームの位置を移動させるには

- 移動させたい位置をモニター上で直接タッチする。



#### 測距点／AFフレームをモニターの中央に移動させるには

- モニターをダブルタップする。

### メモ

- この方法は、以下のAF測距方式の場合に使用できます：スポット測距、フレーム測距
- オフに設定した場合でも、ダブルタップするとAFフレームは常に中央に移動します。

### タッチ操作で撮影する（タッチAF+レリーズ）

タッチAF+レリーズに設定すると、モニターをタッチしてピントを合わせ、そのまま撮影ができます。

- メインメニューでフォーカスを選択する。
- タッチAFを選択する。
- タッチAF+レリーズを選択する。
- 移動させたい位置をモニター上で直接タッチする。

### EVF使用時にタッチAFを使用する

誤操作によりAFフレームが移動するのを防ぐため、電子ビューファインダー（EVF）使用時はタッチAFを無効にすることができます。AFクイック設定は呼び出すことができます。しかし左目でピント合わせをする場合などは、「AFクイック設定の呼び出し」も無効にすることができます。

初期設定：オフ

- メインメニューでフォーカスを選択する。
- EVF使用時にタッチAFを選択する。
- 希望する設定を選択する。
  （オン、AFクイック設定のみ、オフ）

- オン
  - AFフレームの配置（タッチ）
  - AFクイック設定の呼び出し（長押し）
- AFクイック設定のみ
  - AFクイック設定の呼び出し（長押し）
- オフ

**メモ**

- AFフレームをスワイプにより移動させる方が便利なことがあります。

## AFクイック設定

フレーム測距時にフレームサイズをすばやく変更することができます。ファインダー内の画像は、各種設定中も表示されます。

### AFクイック設定を呼び出す

- モニターを長くタッチする。
  - すべての撮影補助表示が非表示になります。
  - 測距方式がフレームに設定されている場合、測距フレームの2つの角に赤い三角形が表示されます。



### AFフレームの大きさを変更する

（フレーム測距時のみ）

- サムホイールを回す。

または

- ピンチイン／ピンチアウトする。
  - AFフレームの大きさは、3段階で調整できます。